

茶道部 活動報告

第四十八回耳の日記念文化祭報告

及川 奈浦子

「いらっしやいませ!」

みみより会茶道部受付にて白い布で覆われたテーブルの上の桃の花とお茶の可愛らしいイラストが、お越しいただいたお客様を和ませました。

去る二月二十三日(土)に東京都聴覚障害者連盟主催の耳の日文化祭が港区三田にある都立障害者福祉会館で行われ、みみより会は茶道部より参加しました。今となつては三十数年前から恒例となつてしまつた毎年三月第一週目の土日に行われるイベントですが、今年は三月三日日曜日に実施される東京マラソン大会とぶつかり、その混雑を避けるため一週間早い実施でした。

ここ数年は、正座が苦手な方のためにイスを使わない立札というお点前でもてなしをしていましたが、今年は新天皇陛下即位をお祝いするため基本に戻り、

イスを使用しない寿棚での薄茶お点前で臨機応変におもてなしさせていただきました。

今年のお軸は「和敬清寂」その意味は茶道の心得を示す標語で、お茶を立てる人とお客さまがお互いの心を和らげてお互いに敬い、茶室の備品や茶会の雰囲気や大事にし、清浄にすることです。

また、今年の和菓子には、黄色い薄皮で白餡を覆った卵をかたどつたような形の「きみしぐれ」という名前のものでした。お製は錦糸町駅から歩いて十分ぐらいの下町の裏通りにある墨田区の「白樺」という小さなお店で作つたものです。

おかげ様で用意しましたきみしぐれ百個は全て売り切れ、とても食べやすくて美味しいと、評判がかなり良くてホツとしました。

来年も行われると思いますが、お点前する人が年々減つて来ているのでさらにお茶の世界の楽しさをうまく若い方にお伝え出来るかどうか、今後の課題でしょう。



おいかわ ×
なおこ ×
(東京都墨田区)

第四十八回耳の日記念文化祭にて

茶道部の方々